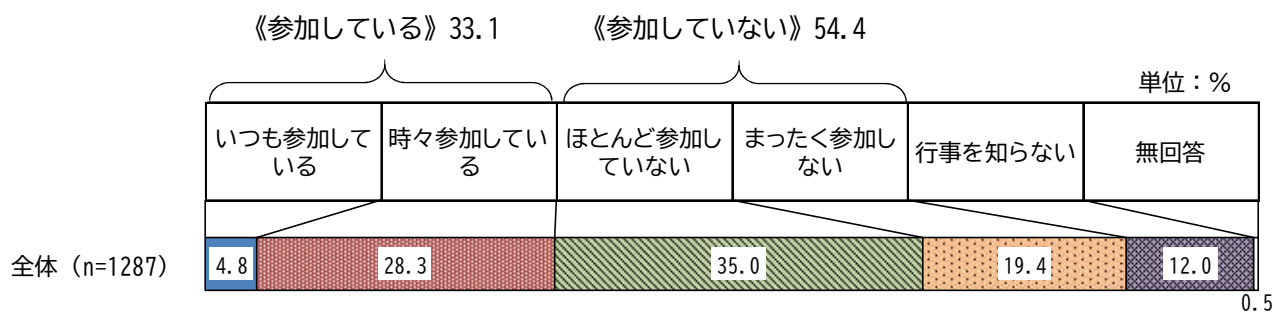


2. 地域とのつながり・暮らし

(1) 地域の行事や活動への参加頻度

◇ 《参加している》は3割半ば近く

問5 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(○は1つだけ)



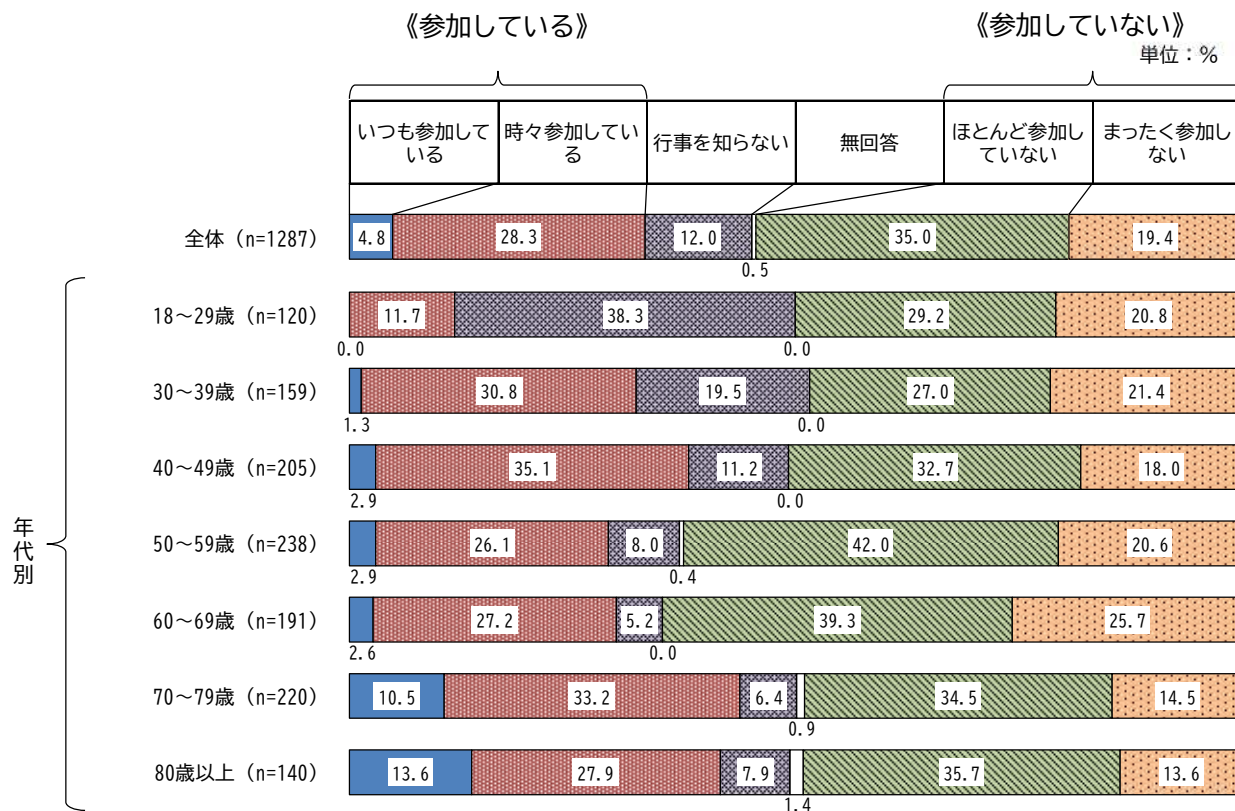
(注) 《参加している》 = 「いつも参加している」 + 「時々参加している」

《参加していない》 = 「ほとんど参加していない」 + 「まったく参加していない」

地域の行事や活動への参加頻度を聞いたところ、「いつも参加している」(4.8%)と「時々参加している」(28.3%)を合わせた《参加している》(33.1%)は3割半ば近くとなっている。一方、「ほとんど参加していない」(35.0%)と「まったく参加していない」(19.4%)をあわせた《参加していない》(54.4%)は5割半ば近くとなっている。

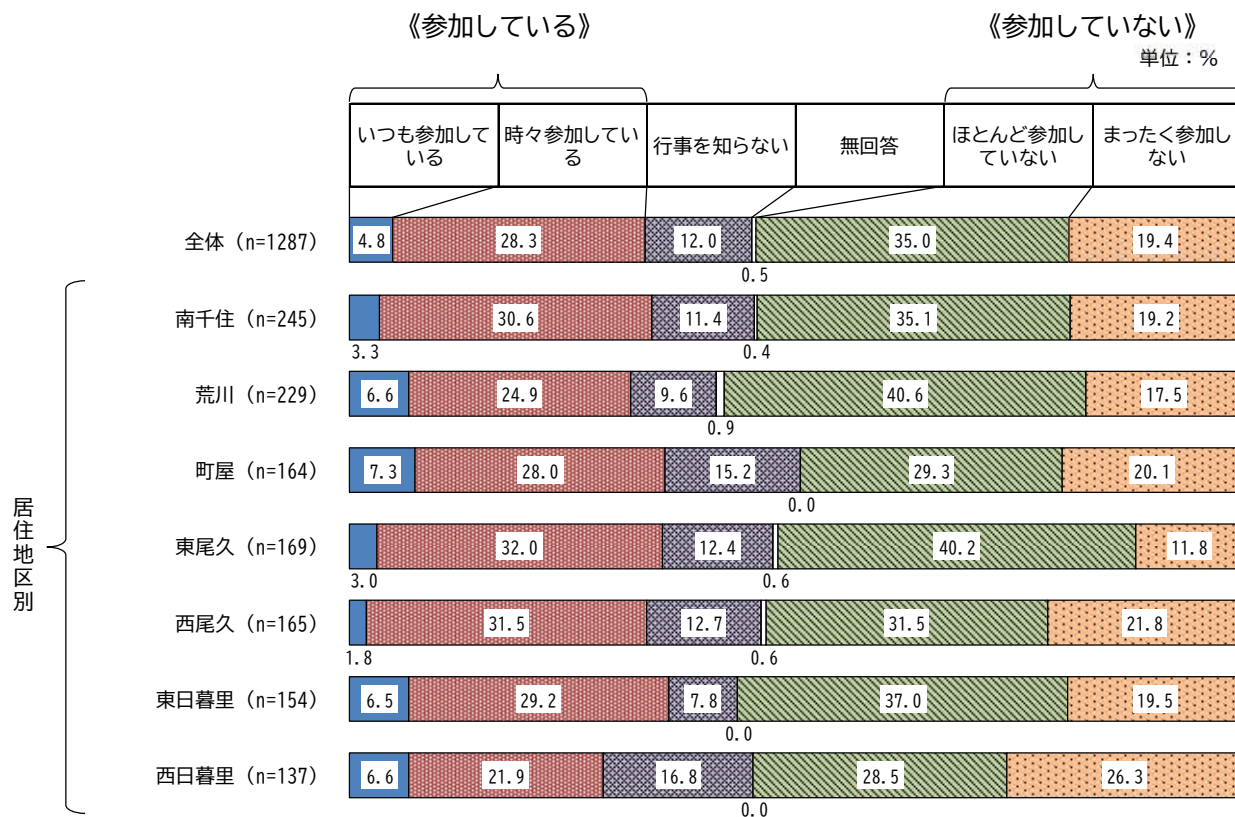
年代別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は70～79歳（43.7%）で4割半ば近くと最も高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加していない」をあわせた《参加していない》は60～69歳（65.0%）で6割半ばと最も高くなっている。

地域の行事や活動への参加頻度 年代別



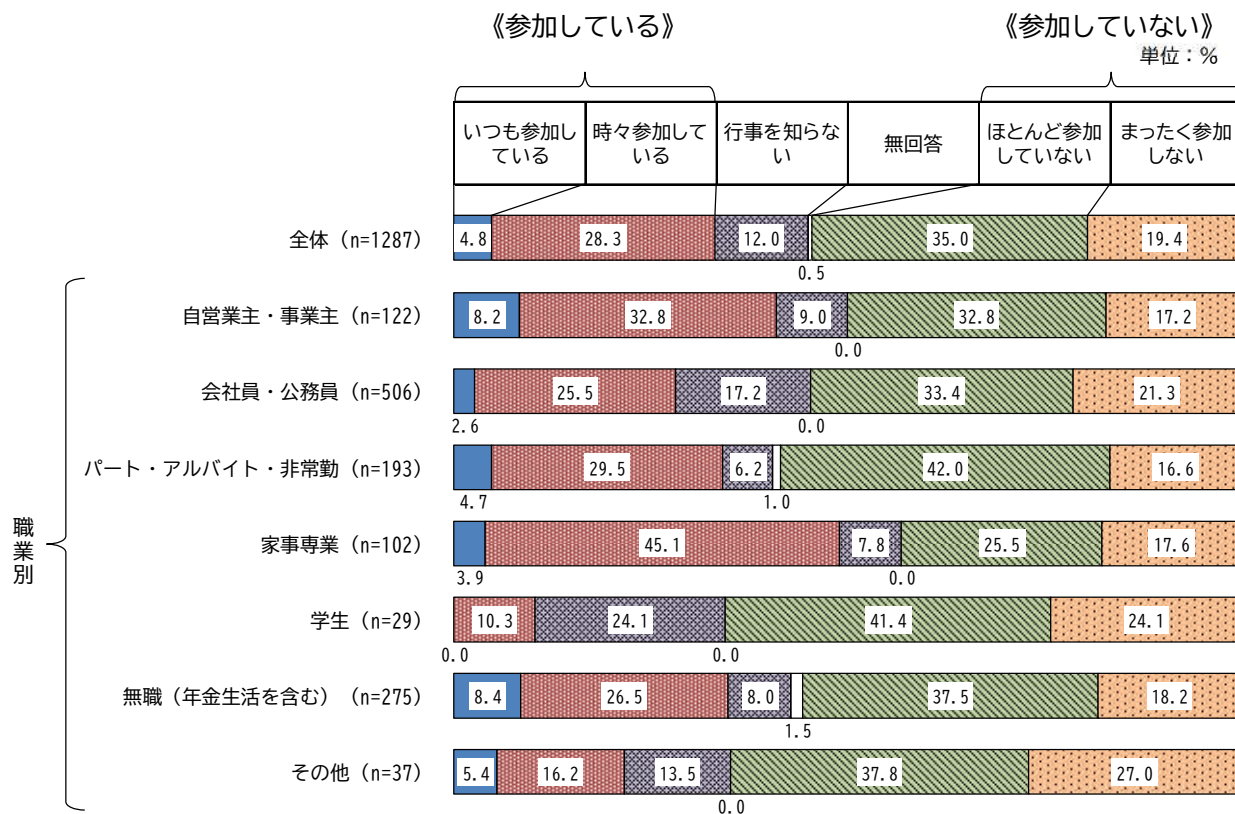
居住地区別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は西日暮里地区（28.5%）を除いていずれも3割を超えている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加していない」をあわせた《参加していない》は荒川地区（58.1%）で6割近くと最も高くなっている。

地域の行事や活動への参加頻度 居住地区別



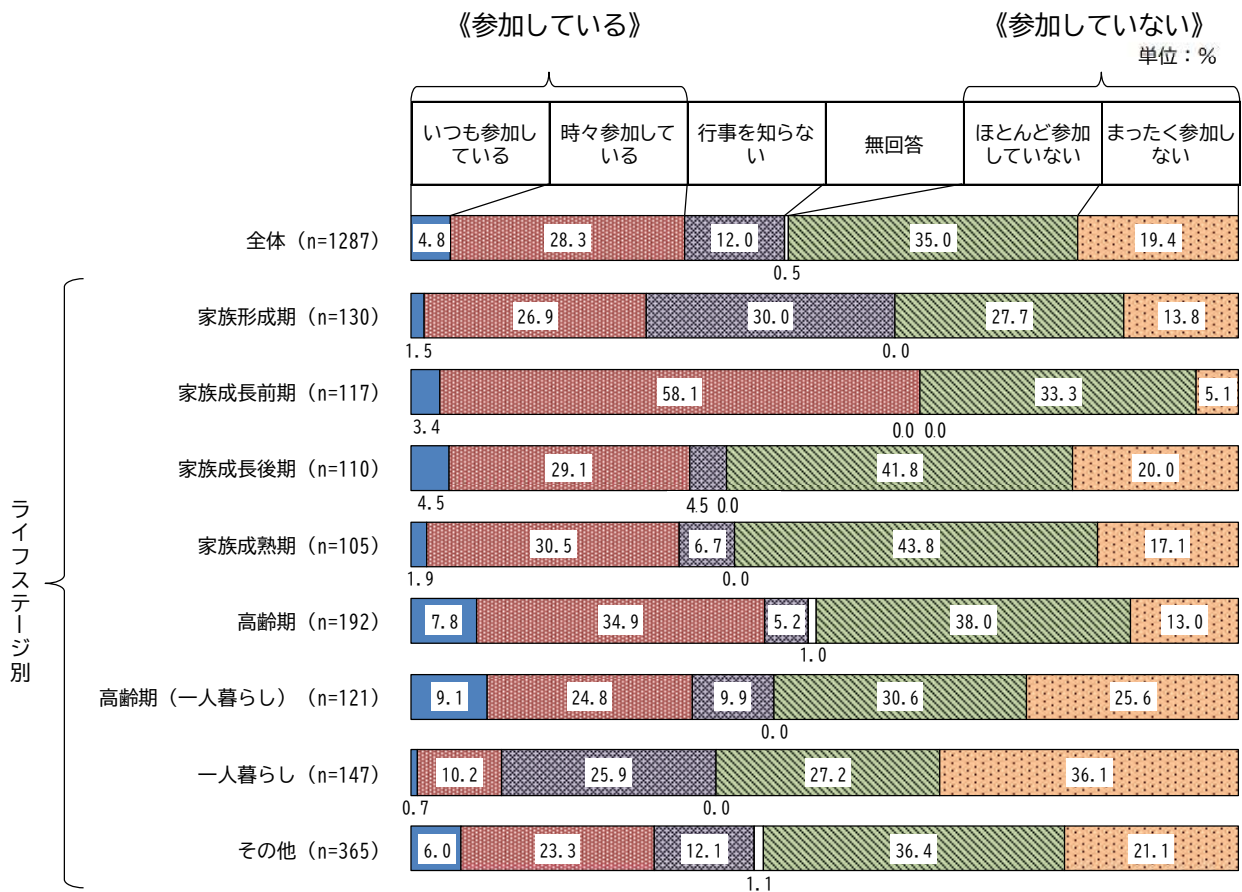
職業別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は家事専業（49.0%）が5割弱と最も高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加していない」をあわせた《参加していない》はパート・アルバイト・非常勤（58.6%）で6割近くと高くなっている。

地域の行事や活動への参加頻度 職業別



ライフステージ別でみると、「いつも参加している」と「時々参加している」を合わせた《参加している》は家族成長前期（61.5%）が6割強と最も高くなっている。一方、「ほとんど参加していない」と「まったく参加していない」をあわせた《参加していない》は一人暮らし（63.3%）で6割半ば近くと最も高くなっている。

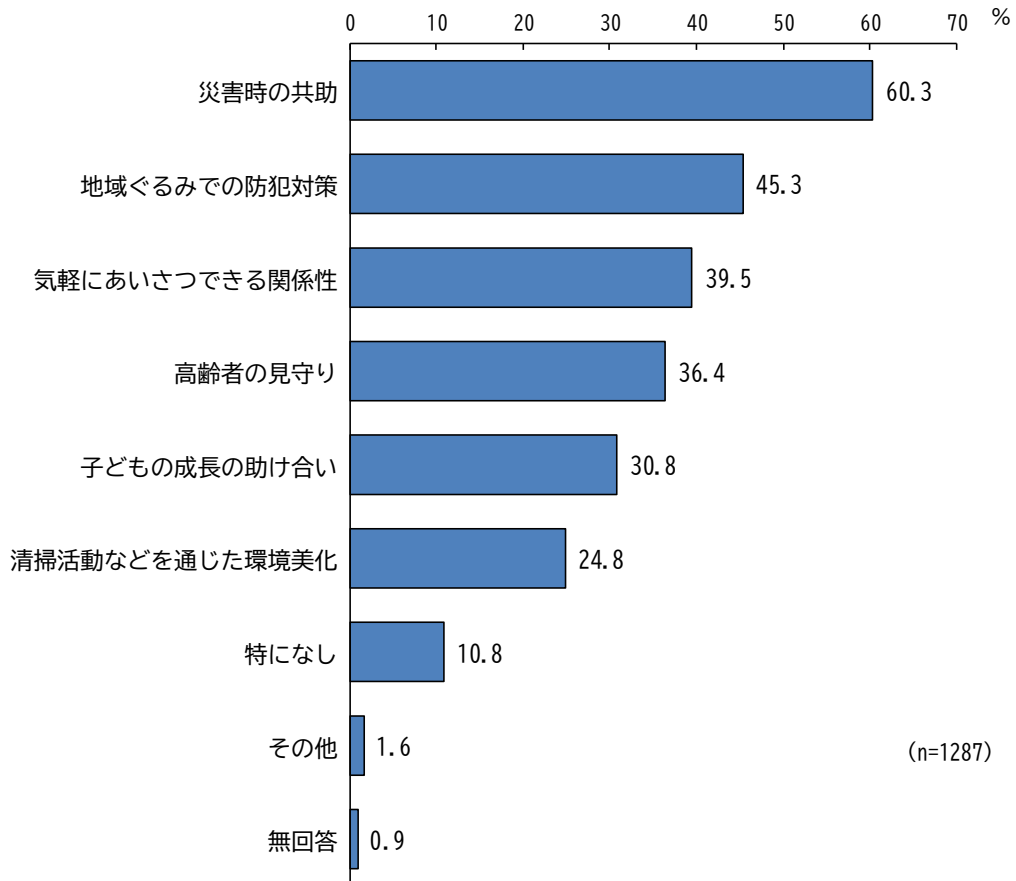
地域の行事や活動への参加頻度 ライフステージ別



(2) 地域コミュニティに期待すること

◇「災害時の共助」が6割

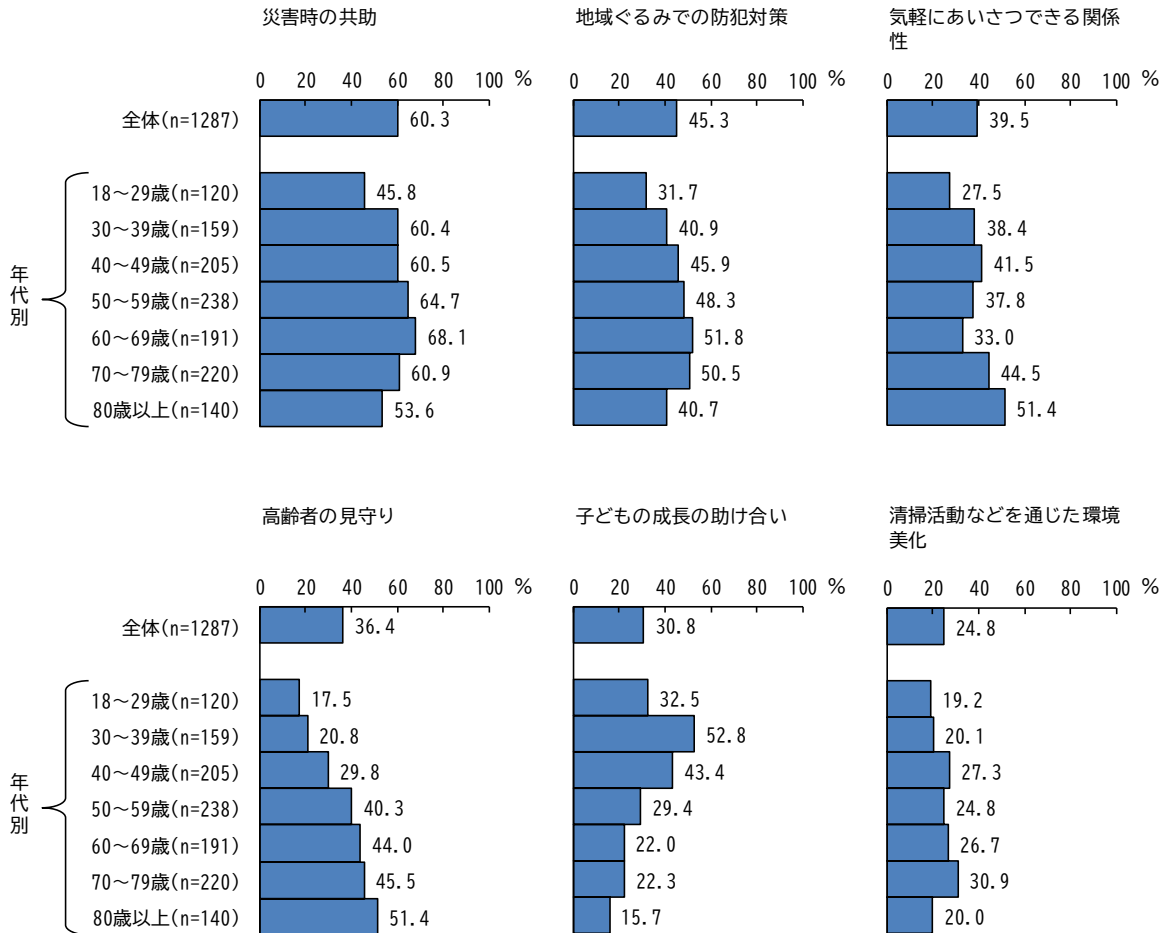
問6 あなたは、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティにどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)



町会・自治会をはじめとする地域コミュニティに期待することを聞いたところ、「災害時の共助」(60.3%)が6割と最も高く、次いで「地域ぐるみでの防犯対策」(45.3%)、「気軽にあいさつできる関係性」(39.5%)と続いている。

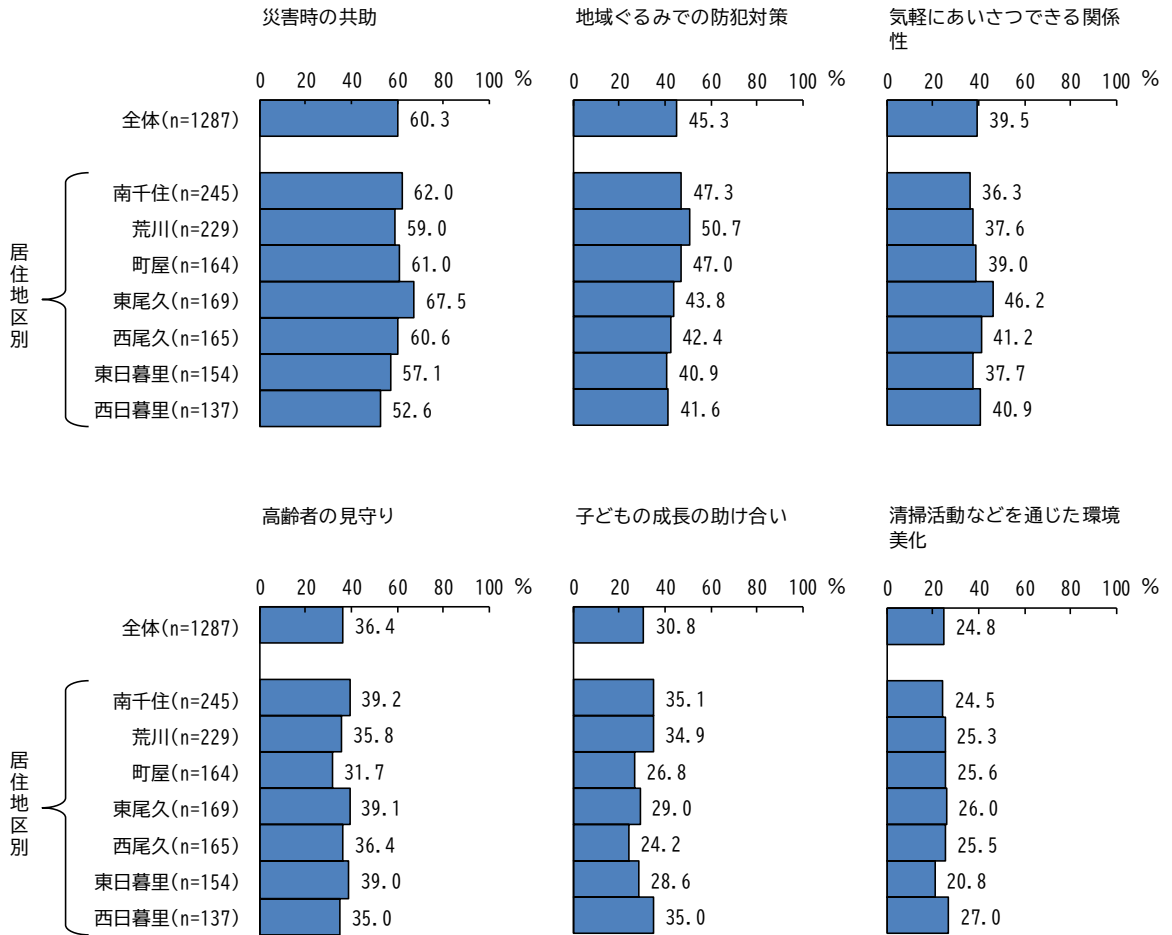
年代別でみると、「災害時の共助」では、60～69歳（68.1%）が7割近くと最も高くなっている。「気軽にあいさつできる関係性」では、80歳以上（51.4%）が5割強と最も高くなっている。

地域コミュニティに期待すること 年代別



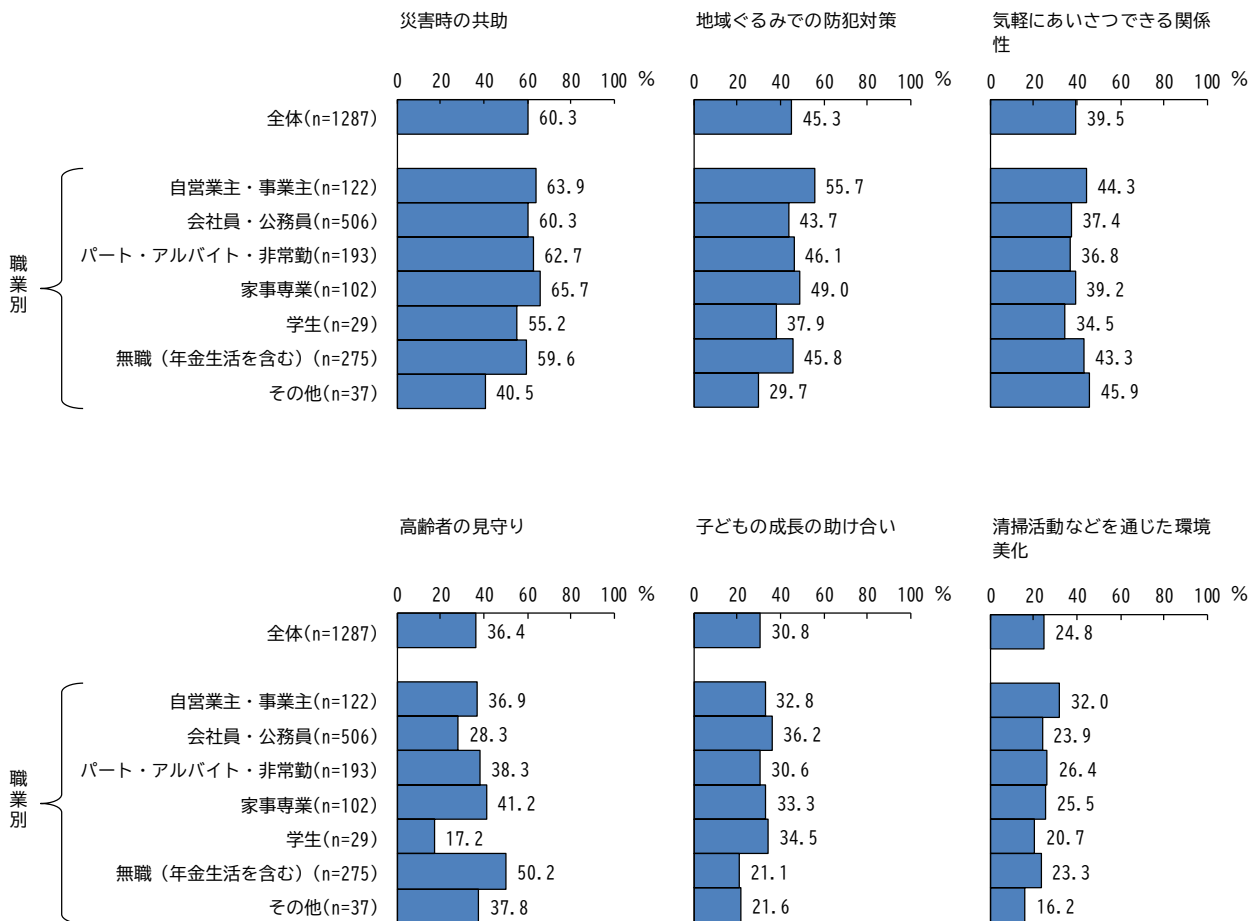
居住地区別でみると、「災害時の共助」では、東尾久地区（67.5%）が6割半ばを超えて最も高くなっている。「地域ぐるみでの防犯対策」では、荒川地区（50.7%）が5割と最も高くなっている。

地域コミュニティに期待すること 居住地区別



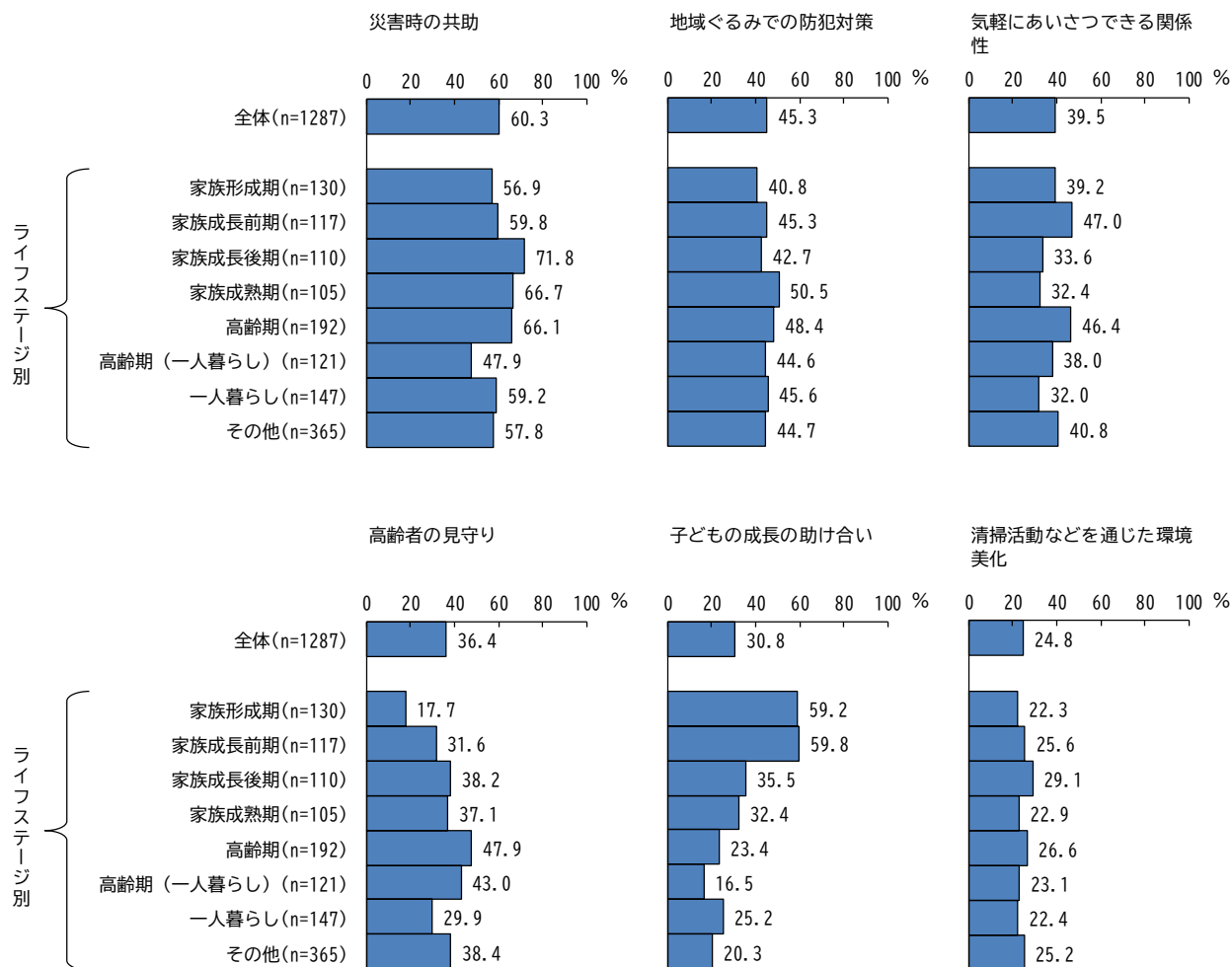
職業別でみると、「災害時の共助」では、家事専業（65.7%）が6割半ばと最も高くなっている。「地域ぐるみでの防犯対策」では、自営業主・事業主（55.7%）が5割半ばと最も高くなっている。

地域コミュニティに期待すること 職業別



ライフステージ別でみると、「災害時の共助」では、家族成長後期（71.8%）が7割強と最も高くなっている。「子どもの成長の助け合い」では、家族形成期（59.2%）、家族成長前期（59.8%）が6割弱と高くなっている。

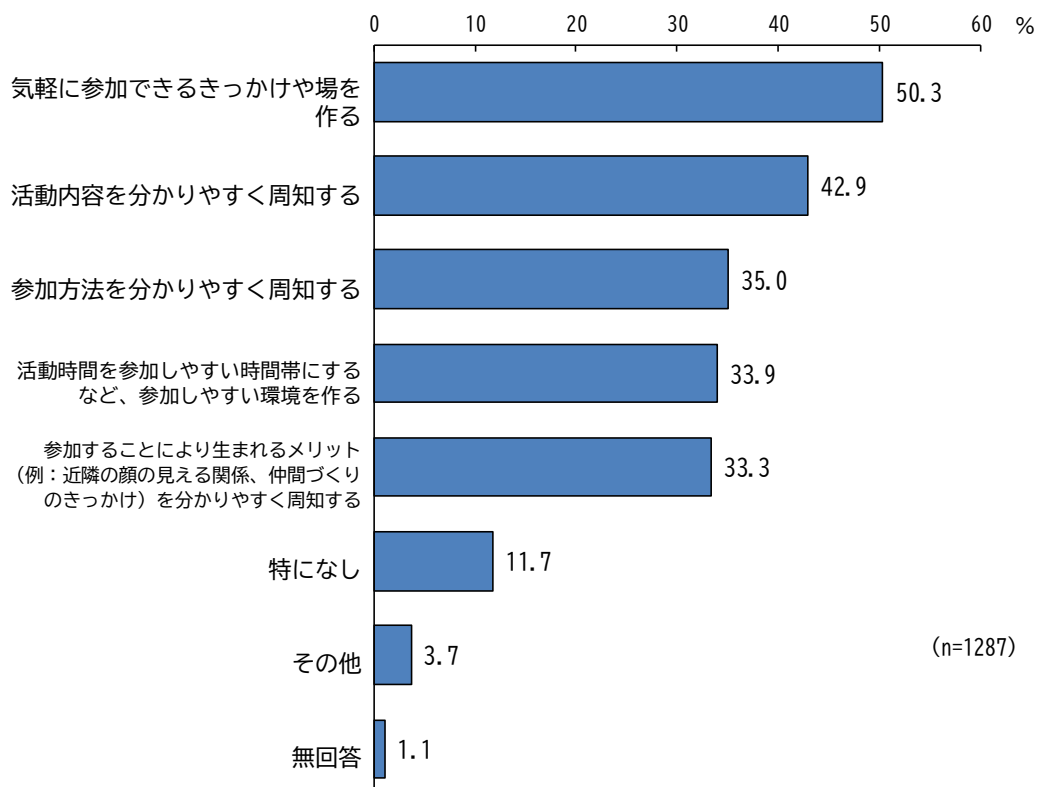
地域コミュニティに期待すること ライフステージ別



(3) 地域コミュニティへの参加促進のために必要なこと

◇「気軽に参加できるきっかけや場を作る」が5割

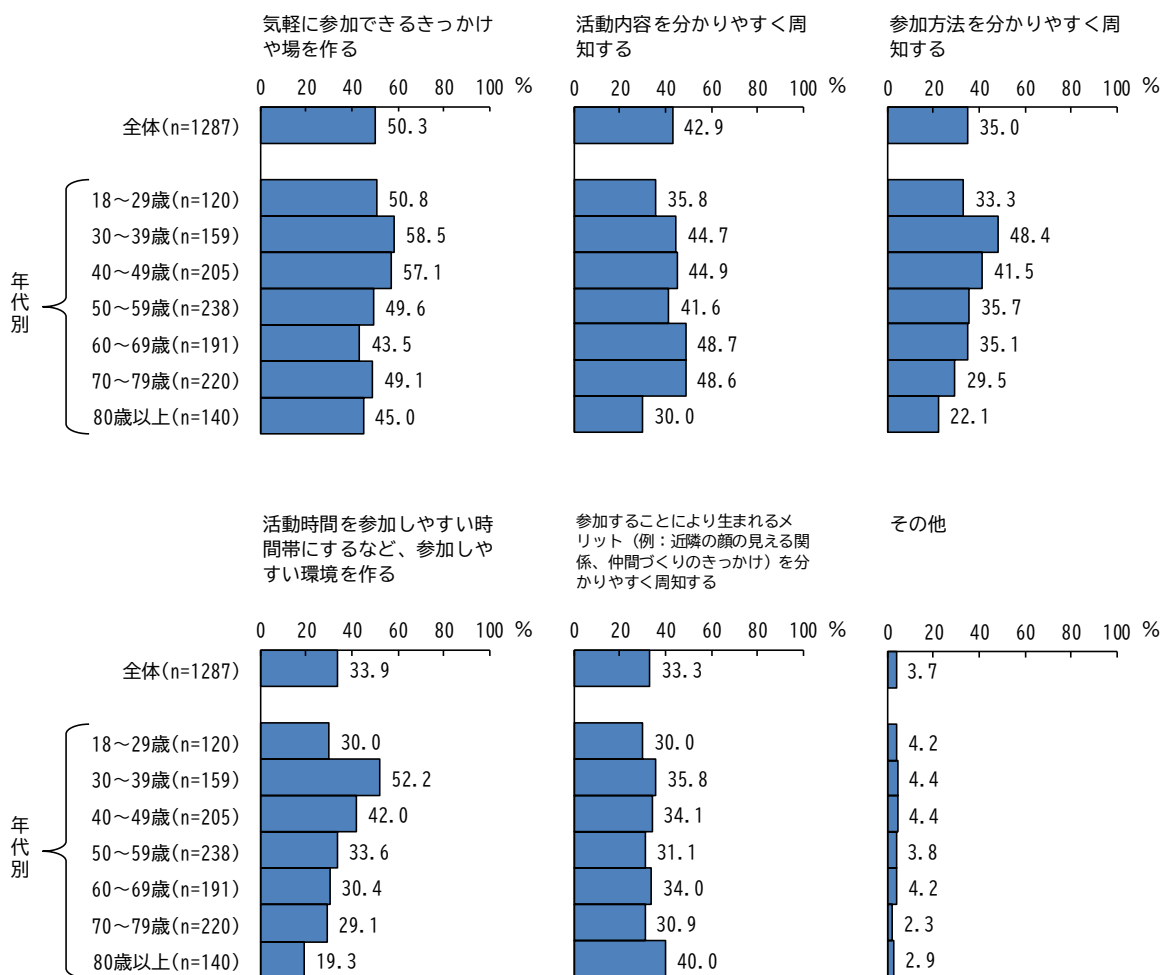
問7 あなたは、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティへの参加を促進するために必要だと思うことはなんですか。(〇はいくつでも)



地域コミュニティへの参加を促進するために必要だと思うことについて聞いたところ、「気軽に参加できるきっかけや場を作る」(50.3%)が5割と最も高く、次いで「活動内容を分かりやすく周知する」(42.9%)、「参加方法を分かりやすく周知する」(35.0%)と続いている。

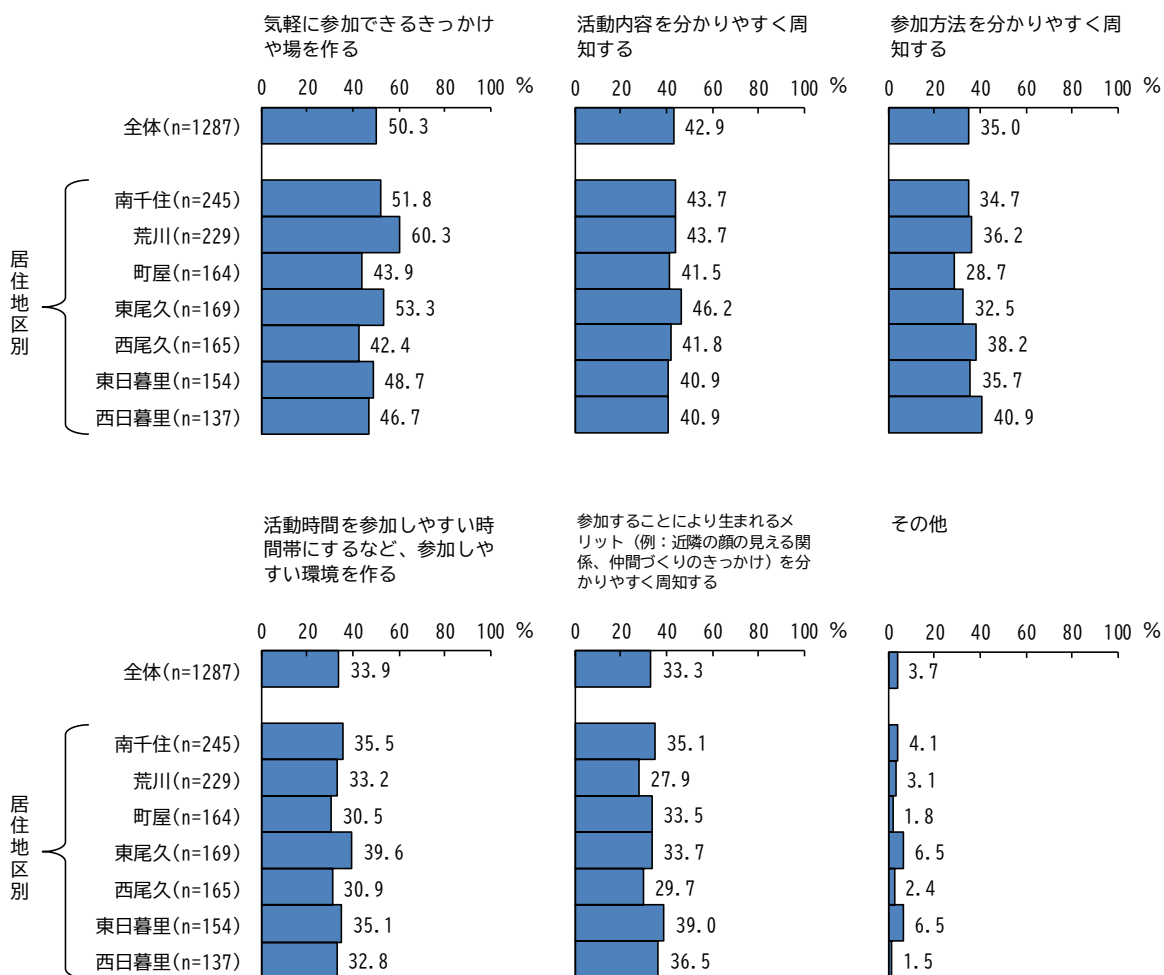
年代別でみると、「参加方法を分かりやすく周知する」では、年齢層が低いほどおおむね割合が高くなっており、30～39歳（48.4%）が5割近くと最も高くなっている。「活動時間を参加しやすい時間帯にするなど、参加しやすい環境を作る」では、30～39歳（52.2%）が5割強と最も高くなっている。

地域コミュニティへの参加促進のために必要なこと 年代別



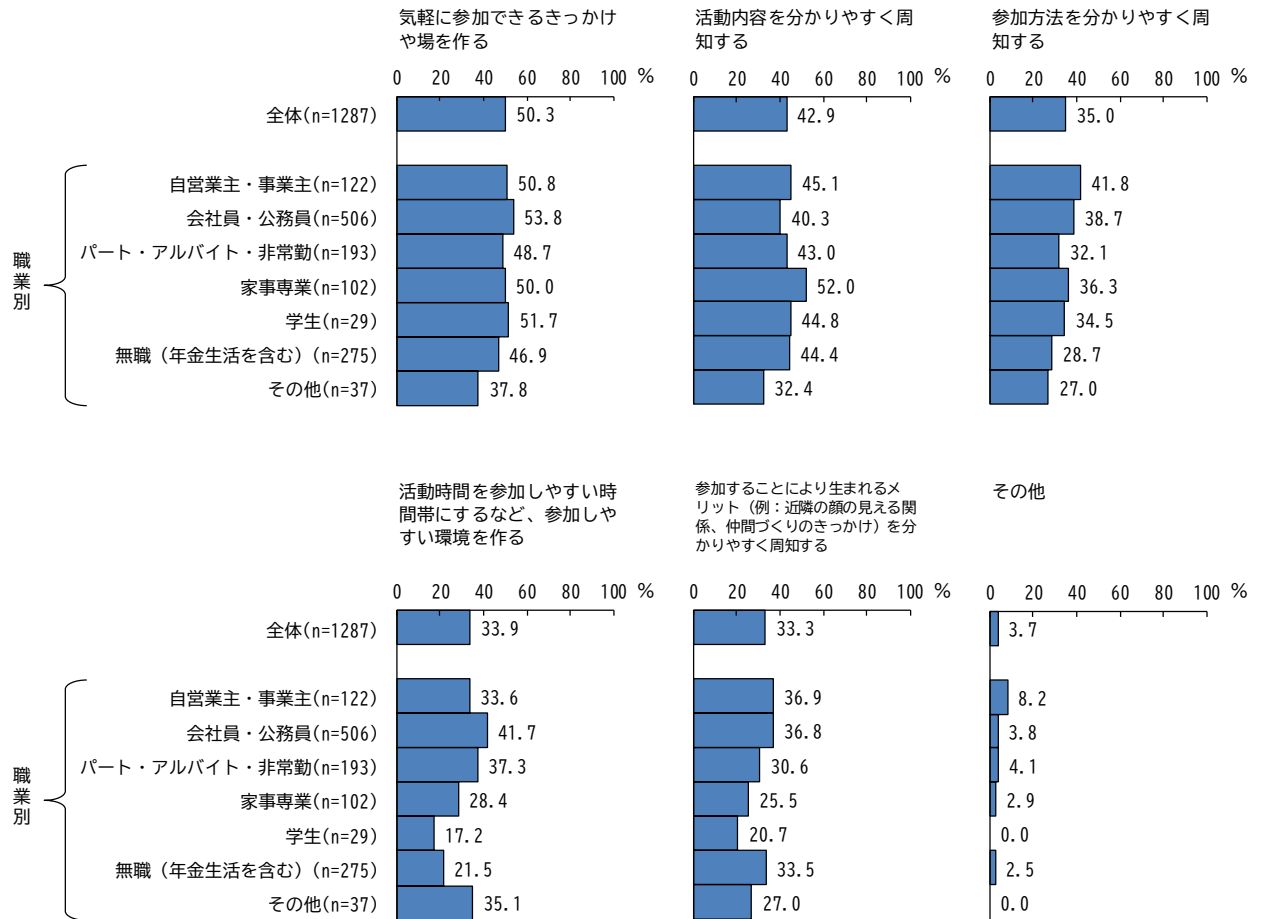
居住地区別でみると、「気軽に参加できるきっかけや場を作る」では、荒川地区（60.3%）が6割と最も高くなっている。「参加方法を分かりやすく周知する」では、西日暮里地区（40.9%）が4割と最も高くなっている。

地域コミュニティへの参加促進のために必要なこと 居住地区別



職業別でみると、「活動内容を分かりやすく周知する」では、家事専業（52.0%）が5割強と最も高くなっている。「参加方法を分かりやすく周知する」では、自営業主・事業主（41.8%）が4割強と最も高くなっている。

地域コミュニティへの参加促進のために必要なこと 職業別



ライフステージ別でみると、「気軽に参加できるきっかけや場を作る」では、家族形成期（63.1%）が6割半ば近くと最も高くなっている。「参加方法を分かりやすく周知する」では、家族形成期（52.3%）が5割強と最も高くなっている。

地域コミュニティへの参加促進のために必要なこと ライフステージ別

